

東京農業大学第三高等学校・同附属中学校

中 期 計 画

学校法人東京農業大学では、2016年に創立125周年を迎えます。これを機に、創立130周年（2021年）に向け、法人の将来構想（中期計画）を策定しました。

将来構想の作成の根底にあるもの、それは少子化です。少子化が今後さらに進む状況下にあって、学校経営を確固たる長期安定経営とし、教育機関として社会的責任を果たしていくため、今から進めるべき改革（中期計画）を実行し、その進展の先にめざす学校法人東京農業大学の未来図（長期計画）を構築していかなければなりません。

法人の将来構想に盛り込まれた目標は、「小・中・高・大」の学園化による有機的な連携・発展です。各部門、大学2校、高校3校、中学2校、小学校1校（2019年開校計画中）では、その目標に基づき、2015年～2018年の4年間に実施する具体的項目を「各部門別中期計画」として策定致しました。

学校法人東京農業大学傘下である本校の中期計画（基本方針とアクションプラン）は下記の通りです。今後4年間、この計画のもと、本校で学ぶ生徒たちへの更なる教育の充実と中等教育を通じた地域社会との連帯と貢献を果たしていきます。

平成28年2月16日

学校長 板垣 啓四郎

東京農業大学第三高等学校

東京農業大学第三高等学校附属中学校

2015～2018 中期計画

教育

(基本方針)

①不撓不屈、旺盛な科学的探究心、均衡のとれた国際感覚という開校以来掲げてきた建学の精神を継承しつつ、時代の要請に即して解釈し直していく。②実学を基調としつつグローバル社会に対応できる人材の育成に努める。

アクティブ・ラーニングの手法により、物事の本質を客観的な科学の手続きにより実証的に解明し、理解を深めていくことを教育の中心に据えていく。

(アクションプラン)

1. 中高一貫卒業生のフローアップ調査に基づく進学実績の向上対策
2. 新しい教育課程コースの実施と実施過程のモニタリング
3. 中学校募集定員の適正規模の検討
4. 授業力と進路実績の向上一教員 FD、生徒毎の細かな教育・進路・生活の指導等
5. グローバル教育の展開—外国人招聘による国際交流の活発化等
6. 質を重視した入試制度の点検—新大学入試制度対策等

生徒支援

(基本方針)

①生徒が充実した授業を享受できるように、教育機器・施設を充実させる。②クラブ活動で生徒が用いる機材や施設の再整備と充実を図る。③学校行事（文化祭、体育祭）の内容を生徒の希望を踏まえつつより充実したものにしていく。

(アクションプラン)

1. 生徒支援の充実—生徒会・学校行事活動への支援と指導、校内支援団体と連携等
2. キャリア教育の充実—中高一貫の6年間を見通した学年毎の目標設定と実行等
3. 生活指導の徹底—しっかりとした挨拶の励行等

社会貢献

(基本方針)

地域に愛される学校づくりを目指す。例えば、地域の環境美化に貢献する。

(アクションプラン)

1. 地域に愛されるボランティア活動を強化していく。
2. 市民公開講座等を通じた地域と学校とのより綿密な連携を図る。

キャンパス環境整備

(基本方針)

三高は、①教育効果を高めるための施設・設備更新、②新コース制への再編に伴う自習室での PC 設置や無線ランの敷設、③2018 年の大学入試改革に備えタブレット端末

機の利用向上のための環境を整備する。三中は、理科教育のさらなる充実に対応した施設の整備拡充を図る。

(アクションプラン)

1. 施設・機器の更新
2. 新たな施設設備の購入—自習室の PC と無線 LAN の設置、理科教育施設の整備等

学校運営

(基本方針)

①健全で発展的な学校づくりを目指して教員各自が与えられた校務分掌を確実に処理すると共に、新しいアイデアを提案していく。またそれぞれの校務の相互連携を取り合う。②災害など危機的な状況が生じた場合に備えて、日ごろから有事の際の情報管理並びに対応システムなどにつき万全な措置を講じる。

(アクションプラン)

1. 健全な財政管理
2. 適正な人事管理—教育力の向上
3. 保護者会・後援会・同窓会などとの連携強化
4. 危機管理体制の整備—危機管理マニュアルの作成等